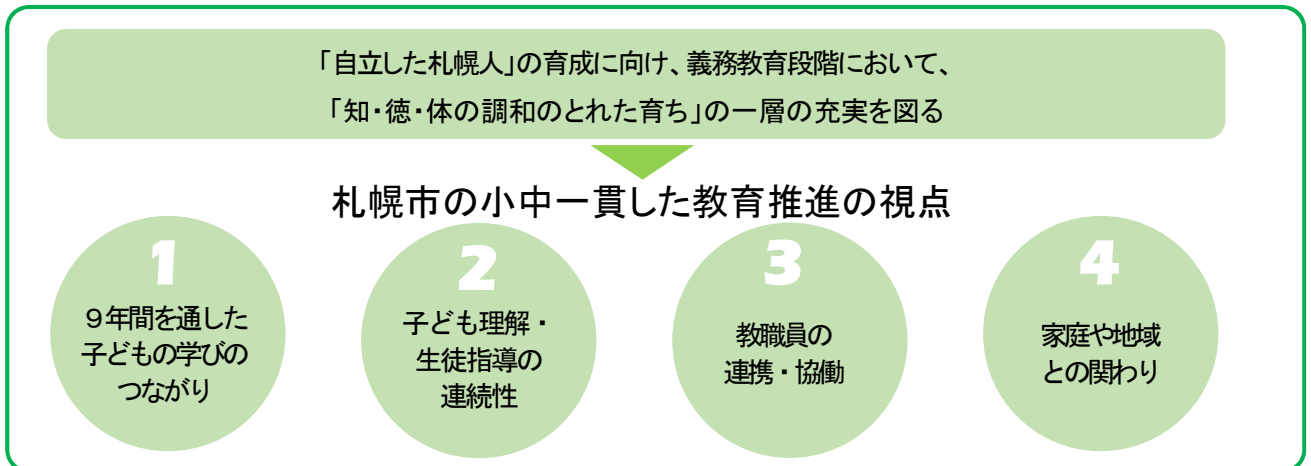


定山溪地区に設置する義務教育学校（小中一貫校）の考え方について

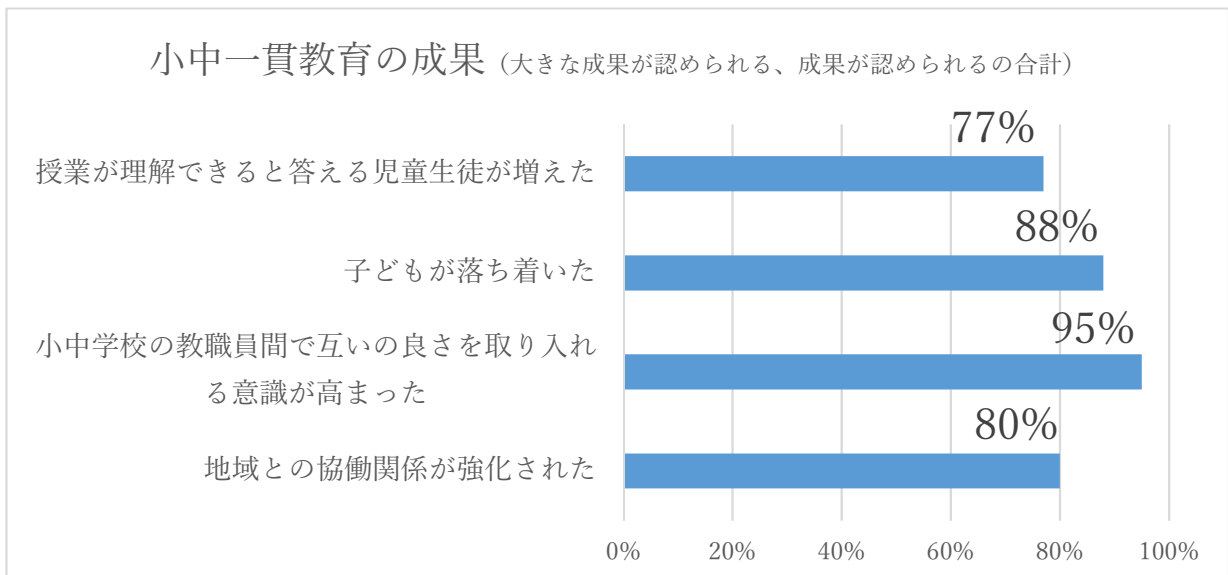
札幌市では、全市立小中学校で小中一貫した教育を進めることとしており、今回、札幌市における小中一貫した教育の更なる推進を目指して、全市のモデル校として、定山溪小学校と定山溪中学校を令和7年度から以下の考え方で、施設一体型の義務教育学校（小中一貫校）に改編することを予定しております。

1 札幌市における小中一貫した教育の目的



⇒ これらの取組を全市で推進するためのモデル校として定山溪地区に「義務教育学校（小中一貫校）」を設置します！

★ 小中一貫した教育で期待されること（H29 文部科学省調査抜粋）



※ 249 市区町村の回答

⇒全国調査では小中一貫した教育を実施することで、学習面、学校生活面、教員の連携、地域・保護者との協働関係に成果があると言われています。

2 義務教育学校とは

- 義務教育9年間の教育を一貫して行う学校です。
- 2016年から制度化され、当時は全国で22校でしたが、2021年には151校と増えてきております。
- 校舎一体で一つの学校として運営する義務教育学校は、小中一貫した教育を最も効果的に実施できる形と考えており、更に成果を挙げることが期待されます。

⇒ 定山溪地区の義務教育学校での実践をモデルとして、札幌市全体の小中一貫した教育を推進していきます！

3 定山溪地区の義務教育学校で実現したいこと

★ 札幌市が設置する義務教育学校のメリット

一つの学校として設置することから

- 9年間の学びを柔軟にデザインできる（小学校6年、中学校3年に捕らわれない）
- 児童生徒一人一人を9年間見守ることができる
- ひとつの教職員組織で一体となった運営がしやすい
- 家庭や地域と9年間安定した関わりをもちやすい

一つの校舎で設置することから

- 児童生徒の幅広い異年齢交流が日常的にできる
- 小中教員が過度な労力なしに連携でき、様々なメリットを生かしやすい



定山溪地区の義務教育学校においては、上記メリットを生かすことができる、今後の札幌市の義務教育学校が目指すべき姿を示すような学校を実現したいと考えています！